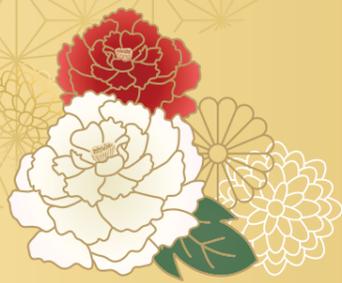


謹賀新年 未来へつなぐ 島原城築城400年



島原市長
古川 隆三郎

新年明けましておめでとーございませう。

市民の皆さまには、令和6年の新春を晴々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、日頃から市政に対し格別のご支援とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症による制限のある生活も5月に終了し、様々なイベントや地域の行事などが多く開催されるなど、住民同士の交流や経済活動が以前の様子を取り戻した活気あふれる年でありました。このような中スタートする令和6年は、いよいよ島原城築城400年を迎えます。年間を通して関連イベントを開催し、築城400年を広くアピールするとともに、本市の歴史や文化、食や観光などの魅力を全国へ向け発信する絶好の機会と捉え取り組んでまいります。市民の皆さまにおかれましても、引き続き市政運営にご理解、ご協力をいただき、築城400年をともにお祝いいたします。

■島原城築城400年

島原城は、松倉重政公が元和4年（1618年）から7年余りの歳月を費やして築いた近世城郭で、本年、築城から400年を迎えます。

これまで、矢狹間塀の改修や電線の中地化、天守閣の改修を実施するなど、島原城および周辺の整備事業の推進により、島原城が美しい姿を取り戻しました。

本年は年間を通して築城400年に関連するイベントを開催し、市民総参加の取り組みにより、島原城の新たな文化や魅力を創造するとともに、「城下町・島原」のシンボルとして島原城が築き上げてきた歴史や文化を次世代に伝承していきたいと考えております。

■ロケツーリズムの推進

映画、CM、テレビ番組などのロケ地として、本市での撮影を誘致することにより、島原の魅力発信につなげるため、ロケツーリズムを推進しております。多くのテレビ番組・CMなどの撮影が市内各地で行われており、そのロケ地のひとつである島原鉄道「大三東駅」は、「日本一海に近い駅」として注目を浴びており、多くの観光客が訪れる人気のスポットとなっています。また、テレビ番組で紹介された飲食店には、連日長蛇の列ができるなど、ロケツーリズムによる情報発信により島原の新たな魅力が生まれ、交流人口の増加につながっています。今後も引き続きロケツーリズムを推進し、多くの方々にロケ地「島原」を訪れていただきたいと考えております。

■継続した子育て支援の取り組み、移住・定住施策の展開

持続可能な本市の未来にとって、人口減少問

題は最重要課題であると考えておりますので、引き続き子育て世代への支援を行うとともに、本市への移住・定住人口の拡大に向けた事業に取り組んでまいります。

子育て支援につきましては、2人目からの保育料の無償化や、医療費の助成をはじめ、新入学児童へランドセルをプレゼントするなど、すべての家庭が安心とゆとりをもって子どもを産み、育てることのできる環境整備に努め、「ことん子育てにやさしいまちづくり」を引き続き推進してまいります。

また、移住の推進につきましては、テレビ番組やCMにより全国から注目を浴びている島原鉄道「大三東駅」や、昨年開業した、カフェ・コワーキングスペースを併設する古民家ホテル「水脈（みい）」なども活用しながら、SNSなどにより「しまばら暮らし」の良さを効果的に発信するとともに、移住者が求める要望に応じ様々な情報提供ができるよう「空き家バンク」や「お試し住宅」などにより、きめ細かい支援を行ってまいります。

■高齢者や障害者がいきいきと暮らせるまちづくり

高齢者が安心して暮らし続けられるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援のサービスを提供する地域包括ケアシステムの充実に努めるとともに、障害者福祉対策については、障害のある人もない人も地域で安心して暮らせる「共生社会」の実現のため、関係機関と協力、連携して支援してまいります。

また、高齢者や障害者をはじめ、多くの方が買い物や通院などでご利用いただいている、「ミニコミュニティバス」予約・あいのり・たしる号」は、大変ご好評をいただいております。毎月五千人近い皆さまにご利用いただいております。今後も市内交通事業者などと連携しながら、地域の足を守るだけでなく、高齢者や障害者の社会参加の機会拡大のためにも、さらに使いやすいコミュニティバスの運行に努めてまいります。

■産業と観光の振興

本市の産業の振興につきましては、中小企業の育成強化や、商店街を含む中心市街地の活性化を図るとともに、本市への企業誘致を実現するため、工業用水に適した湧水など、島原特有の資源をアピールしながら、様々な方向から誘致に取り組んでまいります。

農林業においては、元気で豊かな産地を目指すため、国・県の補助事業を積極的に活用し、ほ場の基盤整備や灌漑施設などの推進を引き続き行い、生産力の向上や経営基盤の強化はもちらんのこと、新規就農者や担い手の確保を図ります。

畜産業では、収益性の向上や経営の効率化を図るため、家畜飼養施設や優良な家畜の導入などにより生産基盤の拡大を支援します。さらに水産業については、次代を担う漁業後継者の確保・育成や各種中間育成種苗の放流を実施し、水産資源の確保と漁獲の安定を図ります。

また、ユネスコが認めた大地の遺産である島原半島世界ジオパークや、九州オールド島原コースなどを活用して観光の振興を図るとともに、

「島原城大手門市」などのイベントを開催し、賑わいの創出と地域活性化を推進してまいります。

■中心市街地の活性化と幹線道路の整備

イオン島原店のリニューアルに合わせ、店内に設置した「しまばらん窓口」とも、毎月千人を超える利用者があるなど、お買い物ついでに利用できる窓口として定着してまいりました。さらなる中心市街地の活性化を図るため、市道堀町縦線整備事業を推進し、中心市街地への流れを誘導することにより、市民が暮らしやすいコンパクトシティを目指したまちづくりに取り組んでまいります。

また、高規格道路「島原道路」については、昨年、森山東一Cから森山西一C間が供用開始となりました。出平町から有明町間の延長約3.4キロメートルについても着々と工事が進捗しておりますので、引き続き国や県と連携し早期完成に努めてまいります。

■地域コミュニティの拡大と防災力の充実

地域の問題を住民同士が話し合い、自ら解決する地域づくりを推進するため、各地区へのまちづくり協議会の設立に向けた支援や、市内全域への機運醸成を図ります。

また、全国各地で発生する災害が大型化、激甚化する中、共助の体制づくりが求められておりますので、災害時に住民同士が共に助け合う地域を目指し、日本一の自主防災会を実現するため取り組んでまいります。

■未来を創る人材育成

人口減少の進展により危惧される今後の学校の在り方については、本市の未来を創る子どもたちにとって大変重要でありますので、市民の皆さまから広くご意見を伺いながら、具体的な学校の統廃合について検討を進めてまいります。

また、「島商ツブ」や「Mii」oかふえなど本市の高校生が行う地域との連携事業も支援し、地元高等学校の魅力向上に努めます。

本年は、全国高等学校総合体育大会「弓道競技」を本市で開催いたします。全国から集まる皆さまを島原らしいおもてなしで迎えらるよう、機運の醸成を図ります。

このほか、「ゼロカーボン」を通じた持続可能な地域づくりを目指すため、多様な取り組みを総合的に進めるとともに、皆さまの生活をより良いものとするため、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進にも努めてまいります。

本年もスピード感のある市政運営の舵取り役として精一杯チャレンジするとともに、島原城築城400年を迎える令和6年を市民皆さまとともに盛り上げ、活気に満ちた島原市を未来へつなぐよう取り組んでまいりますので、皆さま方の更なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。結びに、皆さまにとりまして、本年が素晴らしい年となりますよう心から祈念いたしまして、新年のごあいさついたします。